

注3

大学番号：234

[平成30年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

認可

森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人森ノ宮医療学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務室

職名・氏名 シツチョウ セガフ トシミ
室長 瀬川 敏未

電話番号 06-6616-6911

（夜間） 06-6616-6911

F A X 06-6616-6912

e-mail soumu@morinomiya-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学研究科

＜医療科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 森ノ宮医療学園

(2) 大 学 名

森ノ宮医療大学大学院

(3) 大学の位置

〒559-8611

大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シミズ ナオミチ) 清水 尚道 (平成25年4月1日)		
学 長	(オギハラ トシオ) 荻原 俊男 (平成23年4月1日)		
学 部 長	(アオキ モトクニ) 青木 元邦 (平成25年4月1日)		
研究科長	(ヤマシタ ヒトシ) 山下 仁 (平成23年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学研究科 医療科学専攻 (博士後期課程) 博士(医療科学)	保健衛生学関係 (看護学関係) 保健衛生学関係 (リハビリテーション関係) 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	3年	2人	1人	6人	基礎となる学部等 保健医療学部 鍼灸学科 理学療法学科 看護学科 臨床検査学科 作業療法学科 保健医療学研究科 保健医療科学専攻 (修士課程)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度 から報告 年度まで の平均入 学定員超 過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 2 (-) [-]	人 (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 (-) [-]	1.25倍	1.25倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A							2.00		0.50				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	4 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					[] ()	[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			
計					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	4 [-] (-)	5 [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	4 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	5 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。〔在学者数から退学者数を減らす必要はありません。〕
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

保健医療学研究科 医療科学専攻（博士後期課程）

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 科目	医療科学概論	1前	2			5	1				
	医療科学研究方法論	1前	2			8	2				
	研究倫理特論	1前	2			2					1
	医史学・医療社会学概論	1前		1							2
	小計(4科目)	-	6	1		15	3				2
専門 科目	システム生理学特論	1後		2		1	1	1			
	臨床神経解剖学特論	1後		2		1					
	分子治療学特論	1後		2		3					
	分子病態検査学特論	1後		2		3					
	介護予防技術開発特論	1後		2		2	1				
	鍼灸医療技術開発特論	1後		2		2					
	看護技術開発特論	1後		2		2					
	後期専門演習	1後	2			14	3	1			
	後期特別研究Ⅰ	1通	4			14	2				
	後期特別研究Ⅱ	2通	4			14	2				
	後期特別研究Ⅲ	3通	4			14	2				
	小計(11科目)	-	14	14		70	11	2			
合計(15科目)		-	20	15		85	14	2			2
卒業要件及び履修方法											
共通科目で6単位、専門科目は健康機能科学系及び医療技術開発系から自身の専門領域に最も近い選択科目の特論2単位以上、専門演習科目2単位及び特別研究科目12単位の計22単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 科目	医療科学概論	1前	2			4	1				1
	医療科学研究方法論	1前	2			7	2				1
	研究倫理特論	1前	2			2					1
	医史学・医療社会学概論(未開講)	1前		1							2
	小計(4科目)	-	6	1		13	3				5
専門 科目	システム生理学特論	1後		2			1				2
	臨床神経解剖学特論	1後		2		1					
	分子治療学特論	1後		2		3					
	分子病態検査学特論	1後		2		3					
	介護予防技術開発特論	1後		2		2	1				
	鍼灸医療技術開発特論	1後		2		2					
	看護技術開発特論	1後		2		2					
	後期専門演習	1後	2			13	3	1			
	後期特別研究Ⅰ	1通	4			13	2				
	後期特別研究Ⅱ	2通	4			13	2				
	後期特別研究Ⅲ	3通	4			13	2				
	小計(11科目)	-	14	14		65	11				2
合計(15科目)		-	20	15		78	14				7
卒業要件及び履修方法											
共通科目で6単位、専門科目は健康機能科学系及び医療技術開発系から自身の専門領域に最も近い選択科目の特論2単位以上、専門演習科目2単位及び特別研究科目12単位の計22単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 科 目	医療科学概論	1前	2			5	1				
	医療科学研究方法論	1前	2			8	2				
	研究倫理特論	1前	2			2					1
	医史学・医療社会学概論(未開講)	1前		1							2
	小計(4科目)	－	6	1		15	3				3
専 門 科 目	システム生理学特論	1後		2		1	1	1			1
	臨床神経解剖学特論	1後		2		1					
	分子治療学特論	1後		2		3					
	分子病態検査学特論	1後		2		3					
	介護予防技術開発特論	1後		2		2	1				
	鍼灸医療技術開発特論	1後		2		2					
	看護技術開発特論	1後		2		2					
	後期専門演習	1後	2			14	3	1			
	後期特別研究Ⅰ	1通	4			14	2				
	後期特別研究Ⅱ	2通	4			14	2				
	後期特別研究Ⅲ	3通	4			14	2				
小計(11科目)	－	14	14		70	11				1	
合計(15科目)		－	20	15		85	14				4
卒業要件及び履修方法											
共通科目で6単位、専門科目は健康機能科学系及び医療技術開発系から自身の専門領域に最も近い選択科目の特論2単位以上、専門演習科目2単位及び特別研究科目12単位の計22単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・専任教員退職の理由により、「システム生理学特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に、兼任・兼担「0」から「1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「後期専門演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。

【令和元年度】

- ・専任教員退職の理由により、「医療科学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「医療科学研究方法論」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「システム生理学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担「1」から「2」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「後期専門演習」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授13」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「後期特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授13」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「後期特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授13」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「後期特別研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授13」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	8 科目	科目	15 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	該当なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし			
2				
3				

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校 舎 敷 地	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡	㎡	㎡	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡	森ノ宮キャンパスの土地用途変更のため(28) 校舎設置(30)					
	運動場用地	0㎡ 9,291.02㎡	㎡	㎡	0㎡ 9,291.02㎡	特例措置の認定により運動場機能の代替措置を講じる。特区No.828(大阪市) 多目的スポーツ施設設置のため(元)					
	小 計	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡ 27,157.33㎡	㎡	㎡	16,841.52㎡ 15,595.24㎡ 17,866.31㎡ 27,157.33㎡						
	そ の 他	483.12㎡ 16,941.41㎡ 15,070.34㎡ 5,779.32㎡	㎡	㎡	483.12㎡ 16,941.41㎡ 15,070.34㎡ 5,779.32㎡	土地購入のため(29) 用途変更(30) 用途変更(元)					
	合 計	17,324.64㎡ 32,536.65㎡ 32,936.65㎡	㎡	㎡	17,324.64㎡ 32,536.65㎡ 32,936.65㎡	誤りがあったため修正(30)					
(2) 校 舎	専 用	22,385.58㎡ 29,005.95㎡ (23,492.99㎡) (24,267.37㎡)	㎡	共用する他の 学校等の専用	22,385.58㎡ 29,005.95㎡ (23,492.99㎡) (24,267.37㎡)	誤りがあったため修正(29) 新校舎設置(30) 新校舎竣工(元)					
	共 用	()	㎡	()	()						
(3) 教 室 等	講 義 室	43—41—40 41室	演 習 室	17—14 15室	実験実習室	37室	情報処理学習施設	1室 (補助職員 0人)	語学学習施設	0室 (補助職員 0人)	用途変更(29) 用途変更(30) 用途変更(元)
	新設学部等の名称		保健医療学研究科 医療科学専攻		室 数		18 室		個人研究室15室15人 共同研究室3室3人		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本				
	保健医療学研究科	36,260 [1,870] (29,750 [1,704])	261 [45] (427 [55])	19 [9] (19 [9])	850 ('894)	1229 (1808)	271 (520)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数			
	計	36,260 [1,870] (29,750 [1,704])	261 [45] (427 [55])	19 [9] (19 [9])	850 ('894)	1229 (1808)	271 (520)				
(6) 図 書 館	面 積	1027.17㎡		閱 覧 座 席 数	150		収 納 可 能 冊 数	80,000			
	面 積	1323.22㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要		-		-			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
	教員1人当たり研究費等	280千円	280千円	図書購入費	1,750千円	1,750千円	1,750千円				
	共同研究費等	9,000千円	9,000千円	設備購入費	106,000千円	36,000千円	36,000千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,000千円	第2年次 700千円	第3年次 700千円	第4年次 —千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	森ノ宮医療大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
保健医療学部										
鍼灸学科	4	60	-	240	学士 (鍼灸学)	1.12	-	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
理学療法学科	4	70	-	260	学士 (理学療法学)	1.08	-	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
看護学科	4	90	-	340	学士 (看護学)	1.06	-	平成23年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
臨床検査学科	4	60	-	240	学士 (臨床検査学)	1.20	-	平成28年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.26	-	平成28年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
臨床工学科	4	60	-	240	学士 (臨床工学)	1.17	-	平成30年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
大学院保健医療学研究科										
保健医療学専攻	2	6	-	12	修士 (保健医療学)	1.33	-	平成23年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
医療科学専攻	3	2	-	6	博士 (医療科学)	1.25	-	平成30年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
大 学 の 名 称	〇 〇 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
●●学科	2	100	-	200	短期大学士 (●●学)	1.00	-	平成3	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇	
大学全体	4	270	-	700	-	1.03	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 （専攻科及び別科を除く）。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学研究科 医療科学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 仁 (53) <平成30年4月> 博士(保健学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 研究倫理特論 鍼灸医療技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	青木 元邦 (53) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 研究倫理特論 分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	宮本(盛尾) 忠吉 (51) <平成30年4月> 博士(学術)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 システム生理学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	村上 生美 (73) <平成30年4月> 博士(工学)
		医療科学概論 看護技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 仁 (53) <平成30年4月> 博士(保健学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 研究倫理特論 鍼灸医療技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	青木 元邦 (53) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 研究倫理特論 分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	宮本(盛尾) 忠吉 (51) <平成30年4月> 博士(学術)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 システム生理学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	村上 生美 (73) <平成30年4月> 博士(工学)
		医療科学概論 看護技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 仁 (54) <平成30年4月> 博士(保健学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 研究倫理特論 鍼灸医療技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	青木 元邦 (54) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 研究倫理特論 分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	
専	教授	村上 生美 (74) <平成30年4月> 博士(工学)
		医療科学概論 看護技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森谷 正之 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(歯学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 臨床神経解剖学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	川畑 浩久 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	仲西 宏元 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 鍼灸医療技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	横井 賀津志 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	吉村 弥須子 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(看護学)
		医療科学研究方法論 看護技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	萩原 俊男 (74) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森谷 正之 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(歯学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 臨床神経解剖学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	川畑 浩久 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	仲西 宏元 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 鍼灸医療技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	横井 賀津志 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	吉村 弥須子 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(看護学)
		医療科学研究方法論 看護技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	萩原 俊男 (74) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森谷 正之 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(歯学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 臨床神経解剖学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	川畑 浩久 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	仲西 宏元 (57) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 鍼灸医療技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	横井 賀津志 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	吉村 弥須子 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(看護学)
		医療科学研究方法論 看護技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	萩原 俊男 (75) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		分子治療学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上田 真喜子 (68) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		分子病態検査学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	森 誠司 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(保健学)
		分子病態検査学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	前川 佳敬 (47) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子病態検査学特論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	吉岡 敏治 (71) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	准教授	前田 薫 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	准教授	澤田 優子 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法 後期専門演習
専	准教授	中原 英博 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		システム生理学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	講師	上田 真也 (35) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		システム生理学特論 後期専門演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上田 真喜子 (68) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		分子病態検査学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	森 誠司 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(保健学)
		分子病態検査学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	前川 佳敬 (47) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子病態検査学特論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	吉岡 敏治 (71) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	准教授	前田 薫 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	准教授	澤田 優子 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法 後期専門演習
専	准教授	中原 英博 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		システム生理学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上田 真喜子 (69) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		分子病態検査学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	森 誠司 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(保健学)
		分子病態検査学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	前川 佳敬 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子病態検査学特論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	教授	吉岡 敏治 (72) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	准教授	前田 薫 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 介護予防技術開発特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ
専	准教授	澤田 優子 (45) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		医療科学研究方法 後期専門演習
専	准教授	中原 英博 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		システム生理学特論 後期専門演習 後期特別研究Ⅰ 後期特別研究Ⅱ 後期特別研究Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	神田 靖士 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(化学)
		研究倫理特論
兼任	講師	大形 徹 (63) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		医史学・医療社会学概論
兼任	講師	田中 美子 (47) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		医史学・医療社会学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	神田 靖士 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(化学)
		研究倫理特論
兼任	講師	大形 徹 (63) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		医史学・医療社会学概論
兼任	講師	田中 美子 (47) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		医史学・医療社会学概論
兼任	講師	上田 真也 (35) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		システム生理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	神田 靖士 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(化学)
		研究倫理特論
兼任	講師	大形 徹 (64) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		医史学・医療社会学概論
兼任	講師	田中 美子 (48) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		医史学・医療社会学概論
兼任	講師	上田 真也 (36) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		システム生理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮本(盛尾) 忠吉 (52) ＜平成31年4月＞ 博士(学術)
		医療科学概論 医療科学研究方法論 システム生理学特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・上田真也講師の退職による未就任が急速決まったため、担当予定である「システム生理学特論」を兼任で同講師が担当する。今後は専任教員による科目担当を検討していく。

【令和元年度】

・宮本(盛尾)忠吉教授の退職による未就任が急速決まったため、担当予定である「医療科学概論」、「医療科学研究方法論」、「システム生理学特論」を兼任で同講師が担当する。今後は専任教員による科目担当を検討していく。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時における 設置基準上の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数【大学院】

設 置 時 の 計 画					現 在（報告時）の 状 況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
14	3	1	0	18	13	3	0	0	16
(14)	(3)	(1)	(0)	(18)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
15	1	2			14	1	1		
(15)	(1)	(2)							
現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 状 況					現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 計 画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
15	3	0	0	18	15	3	0	0	18
[1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
16	1	1			16	1	1		
[2]	[0]	[Δ1]			[2]	[0]	[Δ1]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
- ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長 して採用する教員数
60 歳	4 名	4 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{16} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	上田 真也	H30. 4	選択	システム生理学特論	②	H30. 3. 31付けで退職のため就任辞退(30)						
				必修	後期専門演習	②							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	0	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	宮本(盛尾) 忠吉	H31.4	必修	医療科学概論	②	H31.3.31付けで退職のため就任辞退(31)						
				必修	医療科学研究方法論	②							
				選択	システム生理学特論	②							
				必修	後期専門演習	②							
				必修	後期特別研究Ⅰ	②							
				必修	後期特別研究Ⅱ	②							
				必修	後期特別研究Ⅲ	②							
合 計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	0	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
2	人	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	7 科目	必修	0 科目		
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	9 科目	計	0 科目	計	9 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{18} = 11.11 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合 計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
〇〇	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合による辞任のため、致し方ないとする。学生には、新年度オリエンテーション時に周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (29年8月)	1. 博士論文審査基準のうち、研究倫理の項目は、段階評価でなく適否で判断することが適切であるため改めること。 2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	1. 添付資料のとおり、評価ポイント表の「DP④【研究倫理】」の5項目すなわち「患者、被験者、または被験動物に対する倫理的配慮とその実行」、「ヘルシンキ宣言、文科省・厚労省の指針等、関連ルールの遵守」、「倫理審査承認、臨床試験登録等、必要な手続きの実施と適時性」、「利益相反マネージメントの適切性（該当しない旨の申告も含む）」、および「研究不正が疑われないための適切な処置（記録、保存、開示等）」については、5段階評価から「適切・不適切」のいずれかを選ぶ形式に変更した。（別紙資料添付） 2. 本学の定年規程では、新学科の教員について完成年度末までの在籍を認めているため、定年年齢に達した教員を完成年度まで在籍させることとする。（平成30年度）	2. の事項について完成年度までは定年年齢を超える教員も在籍させるが、完成年度以降は必要に応じて再雇用で教員の在籍を継続し、教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、適宜後任を補充していく。また、教員の年代・職位別配置計画を策定するとともに、若手教員についてはプロジェクトの積極的採用や学位取得のサポート等で育成をはかっていく。
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	【該当なし】		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保険医療学研究科 医療科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画に関する変更は特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

自己点検評価・FSD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度において11回実施した。

委員として法人本部長・研究科長・学部長・学科長もしくは代行できる者・共通教育部門より選出された者・
学術研究委員会より選出された者・事務局長および事務局長を代行できる者・大学事務局各室長・総務室員・
学長の指名する者で組織している。また理事長・学長が陪席している。

c 委員会の審議事項等

- ・大阪の未来についての研修会実施について
- ・教育方法改善研究部会ワーキンググループについて
- ・平成30年度前期授業アンケート日程について
- ・危機管理統合マニュアルについて
- ・教育方法改善研究部会について
- ・認証評価機関の求める法令遵守の状況について
- ・平成30年度前期アンケート回答状況について
- ・自己点検（法令チェックリスト）について
- ・平成30年度 エビデンス集（データ編）について
- ・私学共済事業団との経営相談について
- ・独立行政法人大学改革支援・学位授与機構シンポジウムについて
- ・平成30年度前期授業アンケート結果報告について
- ・2019年度 事業計画について
- ・平成30年度前期授業アンケート結果、報告会開催
- ・平成30年度後期授業アンケート日程について
- ・次年度の臨地実習等科目の授業アンケートについて
- ・後期授業アンケートの結果について

② 実施状況

a 実施内容

（平成30年度の実施内容）

- ・平成30年度自己点検評価書作成、および公開
- ・平成30年度自己点検に係るエビデンス集・データ編および公開の実施
- ・学内FSDセミナーの開催
- ・平成30年度授業評価アンケート・公開授業週間の実施
- ・大学院自己点検評価・FSD委員会の設置
- ・学外研修会・セミナー等の案内 等

b 実施方法

- ・教員全体に向けた授業評価アンケート結果に基づくフィードバック会
- ・教員全体の公開授業週間のアンケート、その結果に基づくフィードバック会
- ・教員全体に向けた学内FSDセミナーを開催 等

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成30年度の授業評アンケートは、
前期（平成30年7月頃）に全学科・全学年延べ 82件
後期（平成30年12月頃）に全学科・全学年延べ 67件実施した。
- ・平成30年度の公開授業週間は、
前期（平成30年7月）に実施し、公開授業科目数 75科目、授業参観教職員数が延べ 551名、
後期（平成30年12月）に実施し、公開授業科目数 59科目、授業参観教職員数が延べ 491名参加した。
- ・FSDセミナーとして
平成30年11月15日「平成30年度 研究コンプライアンス研修会」 118名参加（後日資料での受講者42名）
平成30年12月20日「平成30年度前期授業アンケートフィードバック会」 78名参加
平成31年3月11日「教職員に向けてのLGBT基本研修」 88名参加

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成30年度においては前期（平成30年7月）、後期（平成30年12月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては掲示板において授業アンケートの結果と教員側からのコメントをまとめたリフレクション ペーパーの結果の公表を実施している。教職員に対しては授業アンケートの結果とリフレクションペーパーの一覧をフィードバック会で配布する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

①

該当なし

を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

【該当なし】

c 委員会の審議事項等

【該当なし】

d その他

【該当なし】

② 審議状況

a 審議した内容

【該当なし】

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

【該当なし】

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

【該当なし】

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨を活かせるよう、学生募集と医療科学専攻の告知に努め、平成31年度においては入学者1名を受け入れ、設置計画どおり、教育研究は順調に推移実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年5月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和2年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、令和元年7月に申請予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。